

住民の 住民による 住民のための口コミ情報ペーパー



第 8 号 (平成 21 年 9 月 27 日発行)

"なつかしの学校展" が開催されます。



現在の鹿野小学校です。
わたしが通っていた頃の校舎は、
この校舎以前に使用されていた
ものです。
鹿野小も、変わってきているんで
すね。

突然ですが、鹿野にある小学校の数をこぞんじですか？
現在は、鹿野小学校一校だけになってしまった小学校で
すが、かつて鹿野各地に小学校が点在していました。

しづかわ おおしお に ほつ
渋川・大潮・仁保津小学校の各小学校、分校として

みたけ ひみつ お せいりょうじ おくばた
金峰、秘密尾（鹿野小）、清涼寺（仁保津小）、奥畑（金
峰分校が「金峰小」として存在していた時の分校）など、
すでに休校・廃校となってしまった小学校はたくさんあ
ったんですよ。

残念なことに、今年の3月31日をもって休校だった渋
川・大潮・仁保津小学校が廃校となってしまいました。

老朽化が進み、再利用が難しい仁保津小学校は解体されてしまいますが、渋川小は「渋川
をよくする会」の会員よっての利用、大潮小も再利用が検討されているようです。

"なつかしの学校展"は、地域文化の活性化のため、心のふるさとである小学校備品の展示、
及びオークション・バザー形式での売却・整理を行おうという企画になります。



『なつかしの学校展』は、

展示 : 10月5日(月) ~ 10月30日(金) 12:00
オークション: 10月11日(月) ~ 10月30日(金) 12:00
バザー : 10月24日(土)・10月25日(日) 17:00
(バザーで販売する品物は、オークション品以外の学校用品です)
まで、コアプラザかの2F・多目的室にて行われます！

仁保津小学校をふりかえって

ここでは今回廃校となってしまう3小学校のうち、校舎の解体が決まってしまった仁保津小学校の卒業生・河村よし子さんへのインタビューを紹介いたします。

廃校・解体を迎える仁保津小学校について、どのような思いをもたれているのでしょうか。

当時の学校の印象や、思い出をお聞かせください。

私が、仁保津小を卒業したのは47年前になります。当時は、児童が少なく複式学級でした。だけど、複式だからこそその良さとして、アットホームな雰囲気がありましたね。

つい先日、仁保津小の校舎に入られた時の事をお聞かせください。

偶然、荷物運びのお手伝いで行ったのです。まず"なつかしさ"を感じました。良いことも悪いことも含めて、あの頃の自分、自分の原点を思い出したように思います。全く忘れていた風が吹いたような気がしました。

私は、鹿野に、仁保津に、38年ぶりに戻ってきました。今回校舎に入って、「私はちゃんとここにいたんだ」ということを再確認できました。

今回仁保津小が廃校になってしまうことについて、どう思われますか？

多くの方が、ここから出てしまい、住んでいる人が少なくなり、子どもがいなくなっている以上、廃校は仕方ないことだと思います。

だけど、ここに小学校があったという証しは、残しておいてほしいと思いました。石の校門、校庭の木々など。

解体する前に、一度地元の方が校舎に入る機会があればいいな、と思います。まだ校舎に残っているものを「思い出の品」として持ち帰ったりできてもいいですね。

他の人にとってはただの品物でも、ここを卒業した人にとっては何か思い出のある物かもしれませんね。

ご協力、ありがとうございました。

仁保津小学校は、明治9年に「^{すやま}巢山小学校」として創立されました。その後、串小学校の分校化・独立化を繰り返し、昭和28年には「串村立仁保津小学校」となり、清涼寺分校を付属するようになりました。昭和45年に清涼寺分校が廃校となった後も、花いっぱい運動にて山口県優秀賞、県知事賞、全国優秀賞など多数の賞を受賞しています。

昭和63年以後、30年弱の休校が続いていたんですよ。



あの小学校は今……

廃校となってしまった3つの小学校を訪ねてみました。

昔は子ども達の声の響いていた小学校、今はいったいどうなっているのでしょうか？

渋川小学校



渋川小学校の校門です。

明治14年に鹿野小学校の分校として始まり、平成3年に休校となりました。

右の写真は、校門に取り付けてあった学校の表札です。今はかろうじて、「小学校」の文字だけ読み取ることができました。



右の写真は、校舎の正面玄関です。

他の小学校もそうなのですが、**木造・瓦屋根**の建物なんですよ。わたしの通った鹿野小は（旧校舎も含め）外見はコンクリート、屋根も瓦ではありませんでした。

こうした部分にも、歴史を感じることができますね。

今後、「渋川をよくする会」の皆様の手で、どんな風にこの校舎が使われていくのか、とても楽しみです。



大潮小学校



大潮小学校は、明治14年に設置された鹿野小学校の桶山・片山分校が大正2年に合併されて誕生しました。

3小学校のうちでは最も長く存続し、平成9年に休校となりました。

他の小学校と違い、小高い場所に校舎があり、校門に入るまでに少し坂を歩かなければならないのが特徴的です。

正面玄関からグラウンド側を向くと、この^{まるやま}円山を見ることができます。「**おーい、円山ー**」とこの山に児童が呼びかける様子は、たびたび**新聞やテレビで報道**され、平成17年に開催された国民文化祭では、**こども夢プロジェクトの会場**として使われたり、**新藤兼人監督の映画ロケ地**として使われたりもしたんですよ。



仁保津小学校



仁保津小学校が3小学校のうち、最も早く明治9年にその原型を完成させています。

たくさんの児童が通った校門も、今はひっそりと静まり返っていました。

校門の頭部分が特徴的な形をしているのが印象に残ります。

グラウンドから見える校舎の横部分です。時計が掛けられていましたが、時間は少し遅れ気味……休校からの長い年月を感じ取ることができました。



校舎の裏、かつてはここにも花が植えられていたのでしょうか。右手側の建物は、何箇所も鎖でつながれており、老朽化している事を物語っていました。



グラウンドにはほとんど遊具もなく、開けた空間が広がっていました。どんなことをして遊んでいたのか、想像が膨らみます。



なつかしの学校展 ボランティア募集

なつかしの学校展を開くにあたり、用具運び込むボランティアを募集しています。もしお時間が合えば、一足先に懐かしい学校用品と再会してみませんか？

日時：

9月28・29・30日（公民館より、コアプラザかのへ用具を移動します）

10月1・2日（コアプラザかのに展示品をセッティングします）

9：30までに、公民館前までお越しください！

連絡先：

0834-68-2094（コアプラザかの）

町づくり応援団“えーる”
で検索しても出てきます！

～くちコミ 第8号～（平成21年9月27日発行）

発行者：町づくり応援団“えーる”

URL：http://straynotes.net/machi_ouen.html

